

令和4年度 後期 学校評価集計			河内小学校 令和5年2月7日 第2回学校評議委員会						
	分析と対応の方向性について(学校)	保護者	上位評価の割合(1+2)	児童	上位評価の割合(1+2)	教職員	上位評価の割合(1+2)		
生活	<p>○「あいさつ、思いやりの心、家族と会話」について、前期に引き続き高評価が見られることから、温かい人間関係づくりの基盤が地域・家庭・学校において形成されているので、今後もさらなる定着をめざしていく。</p> <p>○今回から新たに保護者から家庭での仕事・手伝いの項目を設けたところ、87%を超える高評価だった。児童も16%の上昇となったことから、家族の一員としての役割の働きかけが一定の成果を得たと考えられる。</p> <p>△家庭でのメディア(テレビ、ネット、ゲーム)との付き合い方については児童・保護者ともに評価が低いまま変化は見られない。さらに、今回は就寝時刻についての評価が低下した。生活リズムづくりの観点から、「メディア利用の際の約束」と「早寝」などの規則正しい生活習慣作りについて働きかけていく必要がある。引き続き学校でのメディアリテラシー教育を計画的に進めていく。</p> <p>△「学校は楽しい(保護者)」及び「安心して過ごす(児童)」で、-15~-13%となっている。今後も児童の見取りと早期対応を心がける。</p>			給食は残さずに食べるようにしている。	100.0%	適切に給食指導を行っている。(準備片付け・衛生・マナー・栄養バランス)	100.0%		
		お子さんは、夜はやく寝るようにしている。(1-3年…9時 4-6年…10時)	83.9%	夜は、はやく寝るようにしている。(1-3年…9時 4-6年…10時)	77.4%				
		お子さんは、メディア(テレビ・ネット・ゲーム)との付き合い方(時間・ルール)を約束し、それを守っている。	61.3%	テレビやネット・ゲームについて、おうちのひとと約束を決めて、それを守っている。	77.4%				
		お子さんは、家の仕事や手伝いをしている。	87.1%	お家のひとと約束して、家の仕事やお手伝いを毎日している。	74.2%				
				委員会活動(4-6年)やクラスの係活動は、しっかりと とりくんでいる。	96.8%	学級の係や委員会活動の日常の仕事が確実に行われるように指導している。	100.0%		
		お子さんは、毎日朝食をとっている。	100.0%	毎日朝ごはんを食べている。	71.5%				
		お子さんは、学習のための道具や持ち物の準備を自分でできるように気をつけている。	71.0%						
		お子さんは、学校は楽しいと思っている。	74.2%	学校は、楽しい。	83.9%	子どもたちは、学校で楽しく過ごしている。	100.0%		
		・児童が、楽しく、安心して過ごすことができる学校づくりに努める。		お子さんは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	93.5%	いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	74.2%	子どもたちは、いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている。	100.0%
		・温かい人間関係づくりの意識化を図る。		お子さんは、家庭や地域で挨拶を交わすことができる。	87.1%	学校や家、近所でしっかりと あいさつをしている。	96.8%		
・SCなどの専門家や専門機関との連携を図り、問題事案には、チームで対応に当たる。		お子さんは、友達に対して、思いやりの心で行動している。	100.0%	友だちにたいして、思いやりの心で行動している。	96.8%	〈高め合う集団づくり〉児童どうしが認め合い思いやりのある言動ができるように責任を持って指導している。	100.0%		
・授業の分かりやすさについて、児童アンケートと保護者アンケートの数値にやや開きがある。		お子さんと学校や友達の話をする機会をとっている。	96.8%	家では、家のひとと学校や友達の話をしている。	90.3%	児童の思いや悩みを拾い上げ、いじめや不登校を未然防止するために意思疎通を図るための手立てを打っている。	100.0%		
学習	<p>・授業の分かりやすさについて、児童アンケートと保護者アンケートの数値にやや開きがある。</p> <p>・家庭学習の習慣について親子の評価に差異がある。家庭学習における量から質への転換を啓発していく。</p> <p>・児童は読書量に満足しているが、保護者・教員はより質の高い本を手にするのを期待している。良書との出会いを進める。</p>	お子さんは、「授業が分かりやすい。」と感じている。	77.4%	先生の 授業のすすめかたは分かりやすい。	96.8%	少人数編成を活かし、全員参加の授業になるよう指導している。	100.0%		
		お子さんの、ノートやプリントをみている。	77.4%	課題やわかったこと、まとめ・ふりかえりなど、ノートをいねいに書いている。	71.0%	ふり返りやまとめの場の設定を含め、ノート指導の充実を図っている。	100.0%		
		お子さんは、毎日、家庭学習の手引きの目安の時間、家庭学習に取り組んでいる。 ※1,2,3年生…30分 4年生…40分 5年生50分 6年生60分	67.7%	宿題や家庭学習を毎日して提出している。(1,2,3年生…30分 4年生…40分 5年生50分 6年生60分)	74.2%	家庭学習が習慣化するよう、見取りと手立てを行っている。(家庭学習の時間と内容の吟味)。	100.0%		
				道徳の時間で学習したことを友達や家族との生活で活かすようにしている。	83.9%	〈心の教育の充実〉教科や特別活動など全教育活動と連携して道徳教育が推進されている(資料の吟味)。	80.0%		
		学校では、児童が読書に親しむ機会が設けられている。	96.8%	図書館の本や新聞などをすすんで読むようにしている。	74.2%	児童の読書の量や質を確保するための読書指導を行っている。	100.0%		
						ねらい(育みたい資質・能力)を明確にした授業を行っている。(家庭学習と内容の吟味)	80.0%		
						児童が意欲的に考えを表現する場を設定している。	100.0%		
行事	<p>△行事や体験活動に目的意識をもっている児童が増え(77→87)、教職員も指導していると評価している(100)。しかし、学校での体験学習について、教職員は前期に比べ評価が上がっている(77→87)が、保護者は下がっている(96→80)。また、教職員は学校広報はできていると評価しているが(100)、保護者は「学校の取り組みや児童の様子がよくわかる」という評価は下がっている(96→80)。学校・担任との連携の評価も下がっている(86→71)。学校での取り組みや児童の様子を機会を捉えて知らせるようしていく。</p> <p>○「自分のめあてを持って学校行事に取り組み、取り組み後には自分なりの振り返りができる」という河内小学校のよさを再確認し、子どもたちに達成感を持たせる言葉かけ、取組などによってさらに価値づけていく。</p>	お子さんは地域やPTAの行事に積極的に参加している。	90.3%	地域やPTAの行事に 参加している。	87.1%	PTAの行事や取り組みに協力している。	85.7%		
		学校では、児童の感性を育む体験活動や奉仕活動が行われている。	80.6%				〈心の教育の充実〉感性を育む体験学習やボランティア活動が活性化できている。	85.7%	
				行事や体験活動にめあてを持って参加し、ふりかえりがしっかりできている。	87.1%	行事や体験活動に目的意識を持って参加させ振り返りを指導に活かしている。	100.0%		
連携	<p>○前期に比べ、地域やPTAの行事や取り組みに、児童も教職員も参加したり協力したりできていると評価している(児童80→87)(教職員77→85)。保護者も90%を若干超えている。来年度は創立10周年行事も予定されており、この協力関係を大切にしていきたい。</p>	子どもの様子などを学校・担任と連携して適切に相談できる体制ができている。	71.0%	困ったことや悩みがあるとき、先生に相談しやすい。	74.2%	保護者と連携した児童への指導を行っている。	100.0%		
		学校は、PTAや地域と連携して児童の安全対策を推進している。	90.3%	通学するとき、交通安全やマナーに気をつけて行動している。	96.8%	通学時の安全指導を適切に行なっている。	100.0%		
		学校だよりやホームページで学校の取り組みや児童の様子がよくわかる。	64.5%	おたよりは家の人に見せている。家からのものは学校に出せている。	87.1%	学校広報は適切に行われている。(学校だより・ホームページ・学級だより等)	100.0%		
その他						児童理解について全体で共有し、個に応じた支援を行っている。(個別の記録の蓄積)	83.3%		
						学習の成果が見える掲示の工夫、個が生きる環境づくりがなされている。	100.0%		
						〈学校評価の充実〉課題の共有化と解決に向けての協力体制ができている。	100.0%		
						美化活動が充実している。(清掃指導・協働作業)	100.0%		
						家庭や地域と連携した安全対策が推進されている(緊急時の連絡体制の強化)。	100.0%		